

## 「土佐の木と和紙の家」完成しました。

皆様、おひさしぶりです。桜の花も今年は早く終わってしまいましたが、これから新緑の清々しい季節が始まります。ワクワクして、出かけたくなりますよね。いい季節です。

昨年の秋から工事をしていました、京都市のS様邸が完成しました。  
上賀茂神社の近くのこの現場は、大文字の舟形をまじが望む閑静でとってもいいところです。  
現場に通うのはちょっと遠かったですが、秋から春にかけて京都の季節の移ろいを感じる事が出来て楽しかったです。時々寄り道をして、おいしい和菓子を食べたりして。。。。



(着工の頃は紅葉の時期でした)

宇治のお菓子  
伊藤久右衛門の生チョコ  
抹茶味で美味しいです



昨年の12月10日 いよいよ土台敷きを行ふことになりまして、朝早く現場に行きましたが、ものすご〜く寒くて雪が降り積もっていました。さすが、京都の北区です。とにかく寒い!!! お施主さんが「この辺は京都でも特に寒いところですよ」と言っておられた通りでした。基礎の上の雪を取り除いて、ようやく檜の土台を敷くことができました。



### 12月13日 棟上げ

素晴らしい青空のもと、大工さんの匠の技によって柱と梁の複雑な構造体がどんどん組み上がっていきます。この家に使われている柱と梁は、高知県の「土佐杉」です。

土佐杉は、木目が美しく、粘りがあり地震に対しても粘り強く耐えます。

高知県は、豊富な降雨量と寒暖の差が大きい気候により、良質な杉材が育つ西日本一の産地です。関西からも近いことから、輸送コストも比較的安くできるメリットがあります。すべての柱を4寸角(12センチ角)にしましたので見た目も大きく強い感じがします。





ただ今、外構の工事中。

階段の横の空きスペースがもったいないので、少し工夫して、本棚の収納スペースに作り込みました。施主様に大好評でした。



居室に使っている床板も土佐杉の無垢板です。杉は、柔らかく熱が伝わりにくので、素足で過ごしていただいても、たいへん気持ちがいいです。



内装の壁と天井には、土佐和紙のクロスを貼っています。和紙は、光をいろんな方向に反射するので、目に優しい空間を作ります。しかも、湿気を吸ったり吐いたりしますので、お部屋の湿度を快適に保ってくれます。いいでしょう！

写真では解りづらいですが、この部屋にいますと「空気が柔らかい」という感じです。



今回は真面目に??現場のお話でした。お施主様のS様と色々お話をしながら今回も楽しく施工ができました。ありがとうございました。